

Netflix (NFLX)

【セクター】 娯楽

信買

【市場】 NASDAQ

信売

【企業概要】

世界最大級のインターネット動画配信サービスを手がける企業で、全世界で2.5億人を超える契約者がいます。米国では月額6.99～22.99ドル、日本では月額790～1,980円でサービスを提供しています。同社は過去の定番作品から新作の人気ドラマ・映画作品まで数多くの作品をラインナップとして揃えているほか、オリジナルコンテンツの作成に業界最大級の支出を行い、最近ではドキュメンタリー番組の制作や「イカゲーム」のヒットなどにみられるように米国以外でのドラマ制作にも注力しています。

【業績】 (単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース)

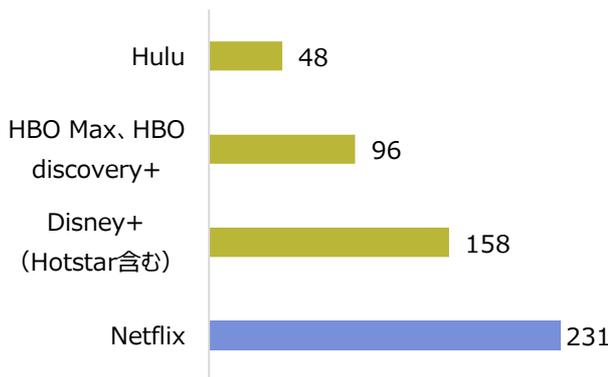
決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
22.12期	31,616	4,331	9.59	0.00	46.7	24.5	42.8
23.12期	33,723	5,547	12.34	0.00	46.3	26.1	42.2
24.12期 (予)	38,231	7,076	16.00	0.00	60.0	27.8	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

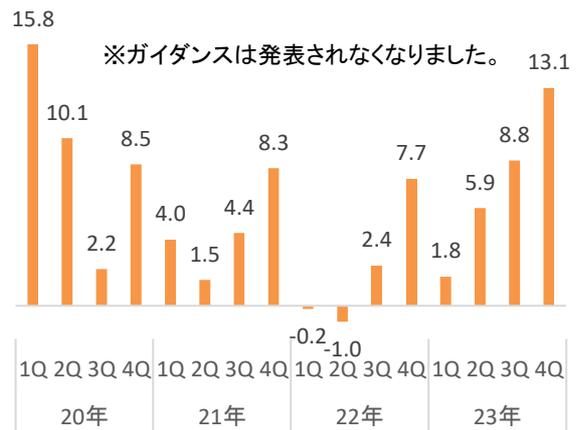
【主要指標】

主要動画配信サービスの加入者 (百万人、22年末)



(出所) 会社資料よりSBI証券作成

契約者純増 (百万人)



(出所) BloombergのデータよりSBI証券作成

【会社の見方】

2022年前半に契約者純増がマイナスとなったことで成長力がなくなったのではとの不安が広がりましたが、同年後半には回復して安心感が広がっています。同社はオリジナルコンテンツの創作能力や会員のエンゲージメントを高める能力に定評があり、これによって価格決定力やユニットエコノミクス(顧客1人当たりの採算性を表す数値)を高めることで順調な成長の持続が期待されます。同社のセールスポイントである幅広いコンテンツによって盤石な地位を占めつつ、広告付きプランの導入が加わることで、全世界で8億人のターゲット市場(中国を除く)の取り込みが進むと期待されます。

【見通し・注目点】

10-12月期は売上が前年同期比13%増、EPSは特別損失等が無くなることで同18倍でした。契約者純増は広告付きプランやアカウント共有対策の導入効果で1,312万人と市場予想の891万人を大きく上回りました。1-3月期は売上が前年同期比13%増、EPSが同56%増のガイダンスです。CEOは「今後、従来のTV放送からネットにつながる『コネクテッドTV』に多額の広告費が流れる。エンゲージメントが高い視聴者をもつ我々は、有利な立場にある」と発言しています。なお、プロレスのWWEと提携してプロレス番組「RAW」を2025年1月から独占配信すると発表、新たな顧客層へのアプローチと考えられます。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。